

<愛光学園同窓会>

## 令和3年9月 常任理事会 議事録

- 開催日時 : 令和3年9月10日(金) 19:00~20:18
- 開催場所 : ZOOM ミーティング、東京第一ホテル松山
- 出席者 : 別紙 計27名(内 zoom 参加 22名)
- 司会 : 宮嶋 嘉則 副会長
- 議事録署名人 : 石井 博章 理事、野本 寿里 理事
- 議事録作成者 : 森元 志郎 事務局長

### I、会長挨拶

皆さんお疲れのところご参加いただきありがとうございます。この情勢下、ウェブにて ZOOM ミーティングという形で行わせていただきます。今日は今月末に開催されます同窓会理事会、来月の同窓会総会の内容を中心に進めていきたいと思っております。その前に先々週8月28日に「旧校舎お別れ会」が開催されました。当初は皆様に広く案内する予定だったのですが、この情勢下でかなり絞られたメンバー(理事長、校長、事務局、中等部生徒会長、高等部生徒会長、父母の会会長)と同窓会としては、私が代表して参加致しました。校舎の入り口で、僅か7、8名でしたが、それぞれがこの旧校舎の思い出を語って、名残を惜しんだという事でした。こちらに関しては、同窓会の方で記録を撮っておりますので、後日、映像という形でご報告させていただきたいと思っております。また本日は関東地区、関西支部、京滋の会からそれぞれ代表の方もご参加いただいております。皆様、よろしくお願ひ致します。

### II. 協議事項

#### 1. 同窓会理事会について

- (1) 日時 : 9月25日(土) 午後6時から
- (2) 場所・開催方法 : 東京第一ホテル松山、ZOOM ミーティングのハイブリッド形式
- (3) 決算報告
  - 令和2年度 同窓会収支決算書(担当副会長)
  - 監査報告(監事)
- (4) 本部からの報告(事務局)
  - 事業報告、物故会員、役員変更、諸規程改定・追加、外部講師(LOBバンク)
- (5) 各委員会報告
  - 広報委員会(担当副会長)
  - 事業委員会(担当副会長)

総務委員会（担当副会長）

(6) 各地区・支部報告（各地区・支部 代表者）

関東地区、関西支部、京滋の会、九州地区、中部地区、沖縄県支部

→ 以上の項目について理事会メンバーの皆様に審議していただきます。

## 2. 同窓会総会

(1) 日時・場所：10月30日（土） 午後6時から

(2) 開催方法：東京第一ホテル松山、ZOOM ウェビナー

→ 今年と同窓会総会は、このような形で行いますので、例年開催しておりました講演会、懇親会は中止とさせていただきます。

ウェビナーによる同窓会総会で、理事会で決議された内容について、報告、審議、承認をしていただきます。

ウェビナーというのは、ウェブのセミナーという事で千人までの方が参加できるZOOMの拡大版と捉えていただけたらと思います。参加者は、URLで会に入ってください、役員の議事進行を見ていただきます。質問等があれば、手を上げるボタンがあり、それを押していただきます。オペレーターが、質問者をパネリストに昇格させなければ発言できないという形になります。こちらが指定してその方に発言権を与えるというものです。

今のところ「同窓会だより」に同封する別紙の文書に同窓会総会開催のお知らせと共にウェビナーのURLを載せる予定です。参加についてはZOOMと同じく許可制にすることも出来ます。

ウェビナーのURLについてQRコードを載せることは可能だと思いますので、検討します。他に参加申し込みメールアドレスを載せておいて、千人までの希望者にウェビナーのURLかQRコードをお知らせするという方法であれば、いろいろな対処も出来ますが、それも含めて、今後相談し、提案させていただきます。

各地区からサテライトのような形を作り、まとまって参加することも出来るかと思えます。

周りの方々にご案内いただき、数多くのご参加をお願いしたいと思います。

## 3. 予算案の協議、内容・金額の検討、様式の再検討

愛光学園新校舎建設・70周年キャンパス整備事業への同窓会からの寄付について

・同窓生から新校舎寄付の現状としましては、8月末の段階で、1億1300万円程です。その内訳としましては、個人が9300万円、法人が2000万円ぐらいです。

目標の2億円に対しての進捗率は6割弱と非常に厳しい状況です。

・会計決算書につきましては、以前の物に比べていくつか整理をしております。

決算につきましても、科目の集約整理に加え当期、前期を併記し、その増減を記すことで見やすくなったのではないかと思います。

→ 令和2年度決算書につきまして、9月6日、菅 監事と岡崎 監事に監査を行っていただいております。決算書の内容について、ご意見、問題は無いようです。

ので、この決算書を理事会に諮りたいと思います。

＊これまで決算書の監査の時、監事2名の方に印鑑を押していただいておりますが、昨今の議論もあり、この常任理事会、次の理事会にも、監事2名が参加しておりますことから押印は必要ないと思います。今年度から押印は無しにします。

- ・新しい試みとしまして予算案をつけた書類を提示します。科目につきましては、今年度改訂予定の決算書に準ずれば分かり易かったかもしれませんが、昨年度までの科目で予算額を当期と前期の平均額を基本に千円単位で出しております。これまでの科目の予算につきましては科目を整理した後、新型コロナの状況を踏まえ修正はあると思います。

ただ、来年度はこれまでと違い寄付金支出に4千万円、70周年事業費に1千万円の予算化を提案しておりますのが、大きなポイントだと思っております。

これにつきまして、70周年事業をどのように考えていくかという事をこれまで議論してきましたが、これまで70周年に向けて資金をプールしていこうという事で繰り越してきた金額ですので、これを有意義に活用すべきではないかと、それと同窓会は任意団体ですので目的を持たない余剰金を大量に持つというのはよろしくないのではないかとという事です。そういったご意見の中で、今回、次期予算の中で、寄付金支出に4千万円、70周年事業費に1千万円を入れても来期に567万円の余剰が出るようになっております。この余剰金も予算上は残ってはおりますが、同窓会としての考え方としましては、余剰金は残さず、周年事業に必要なものについては別枠で積み立てていくべきではという議論を進めております。また、余剰金を同窓会が活性化するための資金として活用すべきだろうという意見もございます。新校舎寄付につきまして、同窓会として2億円の目標のところ、新型コロナの影響もあり積極的な活動が出来ていない中、6割弱しか集まっておりません。

このような中で寄付金の支出を出来る限りという事で寄付金支出に4千万円という額が出ております。また、70周年記念事業委員会で価値のある記念事業の詳細を計画していただいておりますので、予算として1千万円をお願いしたいと考えております。

補足としまして、創立50周年では約1500万円を記念事業に使いました。また、創立60周年でグラウンドの芝生化を計画していましたが、頓挫したことから、支出が抑えられました。70周年辺りでは新校舎の建て替えも予定されており、繰越金を残していた方が良いのではという議論もあり、それも見込んで繰越金も積みあがってまいりました。

- このようなことから、4000万円という額は妥当だという皆様のご意見です。

もう一つ、70周年記念事業について、学校を使って行いたい事業もあるのですが来年の2月にならないと学園の予定がはっきりしないという事です。その他の事業も併せて計画がしづらい状況です。枠取りとしての1000万円を取っていただき、全てを使わなければ、繰越金に組み入れるという事をご理解願います。

- 70周年記念事業費1000万円の枠取りについても異論は出ませんでした。

- ・同窓会の目標額である2億円についての細かな根拠、説明は、不十分ではあるかもしれ

ません。学校側の寄付受付期間は続くようですが、同窓会としては今回の寄付金支出が決議された後も、来年2月の当初期限内に目標額を達成出来るよう積極的な募集活動に努めたいと思っております。

- ・宮西校舎から衣山校舎に移転した際、移転費用の内訳が公開された記憶があります。今回の新校舎建設につきまして、一般的に寄付の要請があり、それに対して同窓会が寄付行為をする事になりましたら、総事業の経緯、その中で寄付がどういう位置を占めているのかという報告をいただけるのが当然のことではないかと考えております。同窓会としてはどこかのタイミングで、同窓生の寄付金が全体の中でどういう位置付けで、どのように活用されているのかという事については、報告を求めたいと思います。

#### 4. 年会費免除について

これまで、学校への寄付や余剰金の活用方法等について、いろいろ議論していく中で、年会費免除についてというご意見を頂きました。現在、1期生の年齢が80歳を超えております。同窓会として慶弔見舞金規程の中で、弔慰金等については、年会費納入の有無で内容を分けていますが、ご高齢の年金生活の中で年会費もかなりご負担になるというご意見も頂いております。今回、予算の活用方法の見直しの中で、ある一定の線を引いて、年会費の免除を考えてはどうかという事がございました。これまでの議論の中で、後期高齢者になられる75歳を一つの節目として、75歳になられる期から上の期の年会費を免除するという案が出ております。

- 75歳以上の期の方々の年会費を免除することに関しては、異論は出ませんでした。免除の方法や継続して年会費を払う事を希望される方の扱い、その表記については、様々な意見が出されました。結論として、同窓会「会則」に赤字を加えます。

(会員)

第3条 本会は、次の会員を持って組織する。

- (1) 正会員 本学園卒業生及び在学したもので常任理事会の承認を得た者
- (2) 特別会員 本学園の現・旧教職員

2 正会員は、所定の会費を納入する。

**75歳以上(当該年度に75歳を迎える期)の方は、原則 所定の会費を免除する。**

- ・追って、希望される方は、是非年会費をお納めください。という事を別の形で表現するという事を考えたいと思います。
- ・慶弔見舞金規程の中の弔慰金等については、74歳の時の会費納入の有無によるものとします。

#### 5. 「創立70周年記念事業特別実行委員会」について

創立70周年記念事業をいろいろ考えております。その中で、実際の大きなイベントの70周年記念事業は、来年の同窓会総会に合わせることになり、10月になりそうです。そうなりますと現在の執行部の任期は来年8月末までですので、本来的には新しい組織に周年事業を引き継ぐこととなります。しかし事業の連続性という事もありますので、任期を超えて、現在のメンバーで「創立70周年記念事業特別実行委員会」を作っ

事業を進めていきたいと考えております。

→ 全員、異議無く承認されました。

## 6. その他

新校舎に移って、何か特徴的なことはありますか。

→ 今のところ教員も戸惑っている状況で、四苦八苦しています。現状、特徴的な事も起こっていません。なかなか慣れないところはあります。移動の大変さはあるようですが、喜んでいる生徒は多いと感じています。

新型コロナワクチン接種について、職域接種を活用して、希望者については進んできています。中学生は親の同伴が必要なため、対応は難しいかと思えます。ただ、寮生も多いことから、出来るだけ多くの生徒がワクチン接種を受けられることを願っています。

## (会長挨拶)

長時間、御熱心な御議論ありがとうございました。また、ウェブという大変話しづらい環境の中でいろいろなご意見を頂きました。この後、理事会、同窓会総会もこういうウェブでのミーティングという事になります。特に、同窓会総会は出来るだけ多くの方に参加していただきたいと思っておりますので、お声掛けの方よろしく申し上げます。

以上、常任理事会議事録について 議事録署名人が確認致しました。

議事録署名人 石井 博章

[確認日：令和3年9月15日]

議事録署名人 野本 寿里

[確認日：令和3年9月14日]